



同友会の活動はこちらのQRコードからご覧いただけます。▶



2

2023年
月号

発行/群馬中小企業家同友会 〒371-0013 前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第二ビル4F TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666 E-mail g-douyu@po.wind.ne.jp



十二月九日(金)、イベント高崎(Zoom併用)を会場に「高崎支部・青年部合同例会」跡取り物語シリーズ⑱を開催。産業用機械の設計・製作等を手掛ける(株)石井工機、代表取締役・石井安美氏(高崎支部)が報告者を務め、「承継後離職者ゼロ!

群馬で一番働きやすい企業への挑戦」月曜の朝がワクワクする会社づくりを目指す」をテーマに、自身の経営体験を語りました。跡取り物語シリーズは、事業承継や後継者の悩み・課題などの交流を目的に、平成十八年からスタートした高崎支部の名物例会。島山氏が報告した第一回から昨年の野口氏まで、過去十七回にわたり県内各支部で活躍する会員を報告者に学び合ってきました。

石井氏は、事業承継するつもりのないままに父が社長を務める同社へと入社。その後、幹部社員の引き抜き独立事件や父の突然の社長引退、リーマンショックなどの苦難を乗り越えるなかで「自

分がやらなくては...との思いに至った」と言います。また、創業以来、初めての社員のリストラに立ち合って「二度と同じことを繰り返してはならない。経営者の責任を痛感した」と当時(常務時代)の心境を振り返りました。

二〇二〇年五月に社長へと就任した石井氏。前述の苦難や失敗、同友会での学び、経営指針の作成などを通して、自社の目指すべき方向性を「社員(人)を大切にできる会社になる」と定め、その達成に向けた様々な取り組みや現れてきた効果などを紹介。報告の最後には「社長のイメージが必ず実現できるわけではないが、イメージできていない、しようとしなければ絶対に実現できない。今後も、群馬で一番働きやすい会社づくり」に挑戦し続けたい」と力強く、

その決意を語りました。報告終了後は「あなたが思う働きやすい企業とは？」をテーマにグループ討論を実施。「熱意のある社員の多さ、前向きな意見を言い合える組織風土」まずは「働きやすい企業」について、社内で共有する作業が必須「社員に対する当たり前を増やす。その当たり前の積み重ねが大事」など、活発な意見が交わされました。



跡取り物語シリーズ⑱ 群馬で「一番働きやすい企業への挑戦

高崎支部・青年部合同例会

今年の振り返り&新年に向けての抱負

桐生支部12月例会

十二月十四日(水)、美喜仁本店を会場に「桐生支部十二月



例会(忘年会)を開催。「純粋に楽しく飲んで語り合う忘年会」として企画され、おなじみの会員面々はもちろん、入会したばかりの新会員や久し振りに参加した会員も含め、大いに懇親を深めました。新型コロナウイルスによる影響はまだまだ残りますが、八月に開催された納涼会と比較しても、グッと参加人数が増えたのは喜ばしい限りです。

開会挨拶・乾杯が続いて、しばらく歓談や懇親を深めた後、「参加者全員の近況報告/前年の振り返り&新年を迎えての抱負」をテーマに、各社の企業努力やチャレンジ、今後の経営戦略などを一人ひとり順番に語ってもらいました。また、プライベートな話題では、いくつかのハッピーな出来事の報告が飛び出し、会場全体が祝福ムードに包まれました。

車座トーク第4弾/忘年会

渋川吾妻支部12月例会

十二月十三日(火)、ホワイパークを会場に「渋川吾妻支部十二月例会」を開催。過去三

時間が最大限に使って順番に全員が語っていききました。座長のまとめで池沢副支部長は「各社で影響の多い少ないはあるかもしれないが、また来月も一年後も、こうして皆で集まれるようにしたい」と語り、参加者が一様に頷いているのが印象的でした。

新型コロナやエルネギーコスト上昇に対する各社の取り組み、今年の振り返りや新年の抱負、近況報告など、一人三分の持ち

例会后は同会場ですべて忘年会を実施。車座トークで語られた内容



に対する質疑応答や、語り切れなかった内容の補足など、さまざまな様相を呈し、大いに懇親を深めました。

サンテックスの強み弱み

富岡安中支部12月例会



富岡安中支部では、十二月二日(金)、和采屋源氏を会場に支部例会を開催。群馬同友会代表理事の(株)サンテックス、代表取締役・田村徳良氏(同支部所属)が「サンテックスの強み弱み」SWOT分析の解説」として報告を行い、報告後は望年会を開催しました。

田村氏は報告に入る前「行動に移さなければ理解したとは言えない。聞いてわかったでは意味がない」と、各自が自社で実践するという例会本来の姿を再確認し本題に入りました。経営指針をつくる会でも行っ

ているSWOT分析の基本となる考え方の説明に加え、自社での取り組み方法と実際の分析結果を解説。さらに、導き出された課題や対応策を具体的に紹介することで、SWOT分析の活用方法を分かり易く参加者に伝えました。

参加者アンケートには「常に行動していかなければいけない」「人事評価制度の取り組みは興味深い」「理屈よりも仲間の経営内容から学んでいきたい」「定期的にSWOT分析をしなければいけない」といった感想が綴られていました。

命の授業

伊勢崎支部12月例会

十二月二〇日(火)、プラザ・アリアを会場に「伊勢崎支部十二月例会」を開催。元・中学校教師で講演家の腰塚勇人氏を招いて「命の授業〜ドリー夢メーカーと今を生きる〜」と題してご講演いただきました。参加者は伊勢崎支部の会員やその家族、他支部会員やオブザーバーなど四十二名。

腰塚氏は二〇〇二年、スキーでの大事故によって首の骨を折

り、一瞬にして首から下が全く動かなくなつたものの、懸命のリハビリを経て社会復帰できるまでに回復。事故をきっかけに人生も人生観も大きく変化した自身の経験、そこから得た教訓や気づきなどが語られました。「あなたにとって大切なものは何ですか？大切にできていますか？」「誰かのドリー夢メーカーになれていますか？」「命を喜ばせる幸動ができていますか？」など、腰塚氏からの問い掛けにより、あらためて「命の使い方」を深く考える貴重な機会となりました。

参加者アンケートには「仕事や社員に対する姿勢、経営者としてのあり方が学べた」「お蔭様とお互い様の気持ちを大切にしたい」「何を言うかより誰が言うか。その誰かに値する生き方をしたい」などの感想が綴られています。

前橋支部では、十二月十五日(木)、アメイジンググレイス前橋を会場に支部例会を開催。介護保険事業、有料老人ホームなどを運営する㈱リバティ・アソシエーション、代表取締役・

「二〇二五年問題を前に、介護保険はますます厳しい時代に突入する」と、加速する高齢化社会が介護業界あるいは、それを支える少子世代に与える影響を危惧し報告をまとめました。

交えることで分かり易く説明しました。「二〇二五年問題を前に、介護保険はますます厳しい時代に突入する」と、加速する高齢化社会が介護業界あるいは、それを支える少子世代に与える影響を危惧し報告をまとめました。



枕澤氏は自己紹介に続き、施設と在宅介護の違いや今後予測される業界の動きなどを、人口統計や海外との比較を基に細かく紹介しました。また認知症の定義や診断の流れなどを事例を

交えることで分かり易く説明しました。「二〇二五年問題を前に、介護保険はますます厳しい時代に突入する」と、加速する高齢化社会が介護業界あるいは、それを支える少子世代に与える影響を危惧し報告をまとめました。

介護の現状と未来について

前橋支部12月例会



アルミ精密部品の切削加工メーカー
株式会社 エーピーエム

充実した設備と長年培った確かな技術力で
お客様のご要望にお応えします！

〒373-0847 群馬県太田市西新町103-2
TEL0276-30-4058 FAX0276-30-4059
URL : <http://www.apm-f.com> E-mail : fuse@apm-f.com

軽量鉄骨システム建築 プレハブハウス

用途に合わせ自由設計、コスト削減(事務所、店舗、倉庫、他)

プレハブパネル工法は規格部材を工場生産 経済性に優れ、短工期

株式会社 三栄工業

〒378-0002 群馬県沼田市横塚町 896-2
TEL. 0278-20-1110 FAX. 0278-22-2102
URL <http://kk-sanei.net/>

ボウ年会を開催

太田支部12月例会



太田支部では、十二月十七日(土)、ドリームスタジアム太田と賓館を会場に、二部制の支部例会(ボウ年会)を開催しました。

一部では、会員同士の交流を目的に「ボウリング大会」を開催。例会設営チームが「支部の仲間が笑って一年を締めくくられるように」と、入念に準備を重ねた大会だけあって、会場では笑顔が絶えない時間を共有することができました。ボウリングでは、神保支部長がその存在感を遺憾なく発揮し、支部長とし

ての底力を見せつけ優勝しました。

第二部では、会場を移動し懇親会(忘年会)を開催。体を動かした後の一杯に、参加者の表情は自然と和らぎ、直前のボウリングの話題はもちろん、一年を振り返りながら、来年への英気を養いました。

参加者からは「いろいろ考えて準備してくれた様子がわかる忘年会だった」「ぜひまた企画してほしい」などの意見が多く聞かれました。



学生に伝えた事と感じた事

沼田支部12月例会

沼田支部では、十二月二十日(火)、司鯨を会場に支部例会を開催。群馬同友会(共同求人委員会)で協力する共愛学園前橋国際大学の「企業人オムニバス講座」に講師として登壇したことに加え、青年部が主催する「企業×学生本音トーク」に参加した(株)野菜くらぶ、専務取締役・毛利嘉宏氏(同支部所属)が「学生に伝えた事と感じた事」と題

して、学生向けに講義した内容と、本音トークで感じた学生の印象などを支部へフィードバックしました。

毛利氏は「経営者の講義が多くの中、たたき上げの幹部の話が学生の気づきに繋がれば」と講師に手を上げた経緯を振り返り、特に伝えたかったポイントをダイジェスト版として参加者に共有しました。また、学生のリアクションや本音トークの内容なども織り交ぜ、今の学生の雰囲気を感じました。

報告後の忘年会では、毛利氏の報告を肴に、時間の許す限り盛り上がり「毛利さんのようなナンバーツーが羨ましい」「安定志向と言われる今の学生に良い刺激になったのでは」といった意見が多く聞かれました。

『同友ぐんま(通常号)』

広告募集

[広告料] 2万円(一口×6回掲載)

[スペース] 縦44mm×横87mm(一口分)

*掲載を希望される場合は、同友会事務局までご連絡をお願いいたします

群馬中小企業家同友会・事務局

TEL 027-232-0001 FAX 027-232-0666

会員たしん

同友会のホームページで
会員検索できます。

【施設の高齢者とオンライン交流】

(株)Pure Next

中之条町の吾妻中央高と、介護事業を手がける(株)Pure Next (代表取締役・塚田純次氏/富岡安中支部所属)は、施設の高齢者と生徒のオンライン交流会を開いた。

2020年度に続き2回目。今年は11、12月に2回に分けて開き、福祉科3年計38人が参加した。16日は渋川市内にある同社のデイサービス施設「もてなし日和ゆのえん」と同校をつないだ。生徒はインターネットや書籍を参考に考案したクイズや体操で、画面の向こうにいるお年寄りとの交流を楽しんだ。 [12 / 21付上毛]

【事業承継支援で覚書】

利根郡信用金庫

利根郡信用金庫 (理事長・坂井隆氏/沼田支部所属)は21日、日本政策金融公庫と、事業承継支援に関する覚書を締結した。利根郡信金の取引先で、後継者難などにより他社に事業を譲りたいというニーズがあった場合に、日本公庫が全国152支店のネットワークを通じて相手先を見つけ、マッチングする。

利根郡信金の坂井隆理事長が同日、日本公庫の前橋支店を訪れ、日本公庫の平田浩幸・前橋支店長、福島英男・高崎支店長とともに覚書に調印した。 [12 / 22付日経]

【前橋の3拠点統合し新店舗】

(株)トヨナガ

新車、中古車販売などを手がける(株)トヨナガ (代表取締役・長尾秀夫氏/高崎支部所属)は、前橋市の3拠点を統合した工場併設の新店舗「スズキアリーナトヨナガ前橋中央」を同市上長磯町に新設し、26日に落成式を開いた。開業は来年1月2日。

同市で販売を担っていた前橋ドリーム店 (同所)と野中店 (野中町)、整備を手がけていた前橋工場 (上長磯町)の3拠点を統合した。これまで分散していた販売と整備の機能を集約することで、顧客の利便性を高めて業務の効率化につなげる。 [12 / 27付上毛]

【手遊びや合奏 園児と楽しく】

新島学園短期大学

新島学園短期大学 (学長・岩田雅明氏/高崎支部所属)の2年生10人が23日、高崎市の認定こども園「ぐんま幼稚園」を訪れ、手遊びや合奏などを園児に披露した。

保育士や幼稚園教諭などを目指す学生が、学んだ成果を実践に生かそうと実施した。クリスマスにちなんだ手遊びの歌を披露したほか、フルートで「あわてんぼうのサンタクロース」などを演奏。園児74人は歌に合わせて体を動かしたり、拍手したりして楽しんだ。部屋の照明を消し、人形で物語を演じるシアターも行った。 [12 / 27付上毛]

【トイレ掃除に新兵器】

アメニティ

トイレ掃除を専門に手がけるアメニティ (代表・星野延幸氏/前橋支部所属)は専用の清掃器具を開発し、「トイレにも人にも優しい掃除」の普及を目指している。昨年は新型の器具により、同社として二つ目となる特許を取得。進化する便器に合わせ、新たな清掃技術の開発を続けている。

星野社長によると、トイレの進化とともに、メンテナンスの方法も変える必要がある。昨年から動画投稿サイト「ユーチューブ」を通して作業の様子も紹介。特に環境に配慮した最新の節水トイレは、従来型より汚れが取れにくい構造だと指摘し「これまで以上にこまめな掃除を」と呼びかけている。 [1 / 6付上毛]

【多文化共生や国際協力学ぶ】

共愛学園前橋国際大学

国際協力機構 (JICA) 国際協力推進員の宮田俊弥さ

んを講師に招いた講座が5日、共愛学園前橋国際大学 (学長・大森昭生氏/前橋支部所属)で開かれた。国際社会学部国際コース1年生約60人が、国際協力や多文化共生について理解を深めた。

宮田さんはJICA協力隊としてガーナで教育支援に携わった経験を基に、発展途上国が抱える教育や環境の問題などを紹介。帰国後に県内の外国人技能実習生と取り組んだ恋愛村でのキャベツ収穫の活動を振り返った。 [1 / 7付上毛]

【市に1000万円寄付】

システムセイコー(株)

前橋市は、企業版ふるさと納税で1千万を寄付したとして、半導体製造装置などを手がけるシステムセイコー(株) (取締役・細野豊氏/高崎支部所属)に紺綬褒章を伝達した。市役所で開かれた伝達式で、山本龍市長が細野社長に表彰状を手渡した。

同社は一昨年、「将来を担う子どもたちのために役立ててほしい」と市に寄付。寄付金は、公立大学法人の運営事業や児童文化センター運営事業などに活用された。 [1 / 11付上毛]

【水と風のサウナ】

(株)ホテル辰巳館

上牧温泉で知られるみなかみ町上牧の老舗旅館・辰巳館 (株)ホテル辰巳館、代表取締役・深津卓也氏/沼田支部所属)は昨年11月、既存の4部屋を露天風呂付の部屋に改修し、うち2部屋にサウナも整備した。創業98年で初めての挑戦だった。サウナと露天風呂が付く客室は県内では珍しい。

「水と風のサウナ」をテーマに、地域資源の魅力を前面に押し出した。熱した石に水をかけて水蒸気を作る入浴法「ロウリュ」と、温まった体を冷やす水風呂にみなかみの水を使用。椅子に座って休憩すると、谷川岳から吹き下ろす風を全身に受けられる。谷川岳の雪解け水から生まれた自慢の温泉と合わせて、深津卓也社長は「水源地の魅力を感じてほしい」と狙いを語る。 [1 / 11付上毛]

【福招く竜 氷で彫刻】

(株)出雲・ホワイトパーク

渋川市石原のホワイトパーク (株)出雲、代表取締役・中野賢幸氏/渋川吾妻支部所属)内の「アイスワールド」で、開運を招く伝説の生き物などをテーマとする氷の彫刻作品が展示されている。

福を招くと伝わる「竜」や「ペガサス」、災害から建物を守ると伝わる「シャチホコ」、今年の干支「ウサギ」など15点が並ぶ。コロナ禍の収束と人々の開運を祈って制作したという。 [1 / 14付上毛]

【会員登録変更】

(有)ケーター (渋川吾妻支部所属)は、この度「代表取締役社長・武田翔氏」に会員登録を変更しました。

【事業所移転】

(株)松永総合企画、代表取締役・松永充氏 (前橋支部所属)は、この度、下記のとおり事業所を移転しました。
〒371-0014 前橋市朝日町4-8-1

【会員登録変更】

(株)松村機械製作所 (太田支部所属)は、この度「代表取締役社長・古川仁章氏」に会員登録を変更しました。

【組織変更 & 代表取締役就任】

ローカルガーデン、代表・小松崎真司氏 (前橋支部所属)は、この度、「(株)ローカルガーデン」に組織変更し、合せて「代表取締役」に就任しました。

第9回 理事会報告

日時 一月十日(火)

※今回も同友会事務所とオンライ
ン併用のハイブリッド開催
となりました。

出席者(順不同・敬称略)

正副代表理事/田村、町田、阿久戸、理事/吉池、提箸、小林、榎原、佐藤、渡辺、小池、周藤、神保、金井、佐藤、高屋敷、神谷、齋藤、阿久戸、橋田、中西、関口、浅井、小坂橋、事務局/阿久澤、竹内(役員計二十三名)

【議事】

小池前橋支部長が議長をつとめ、田村代表理事挨拶のもと、第九回理事会開会。

I. 報告連絡事項

1. 各支部・部会・委員会等の
案内報告
各組織担当者より、活動報告
や今後の計画、依頼事項などが
ありました。

2. その他

三月二日〜三日に開催される
「第五十三回中小企業問題全国
研究会 in 長野」の参加案内
が事務局よりありました。

II. 審議・承認事項

1. 理事会への提案

提箸共同求人委員長より「専門委員会代表者による意見交換の場の設置」について提案があり、基本は理事会の中で実施し、必要であれば別に意見交換の場を設けることとなりました。

2. 役員選考について

①二〇二三年度の正副代表理事、委員長・部会長候補者が総務会より提案され、これを信任しました。
②二〇二三年度の監事候補選任案についてこれを承認しました。

3. 五〇周年記念フォーラムについで

佐藤実行委員長より、実行委員会・正副支部長会で話し合われた内容の報告と合わせて、記念動画作成の予算増額が提案され、これを承認しました。

4. 入退会者承認と仲間づくりについて

前回理事会以降の退会者二名を承認。会員数は五三五名となりました。

III. 意見交換・その他

1. 意見交換

「新年度の活動方針案策定に向けて」、それぞれが用紙に意見を記入し、それをもとに率直な意見交換が行われました。

2. 第十回理事会の開催確認

次回理事会を左記の通り開催することが確認され、議長選出は高崎支部に依頼しました。

■日時/二月七日(火)
■会場/同友会事務所
+ ウェブ(併用)

限りある資源を、次世代へ。
株式会社エスティビー
Zero Emission Stability Topline Business Co., Ltd.
経営理念(存在意義・目的)「絶やさぬために」
私たちは、動脈・静脈の循環型物流力で、人と社会の生命活動を支え続けます。
〒379-2123 群馬県前橋市山王町1-19-14 TEL: 027-212-3312 FAX: 027-266-8288

今お使いの会計ソフトを「未来を見る経営羅針盤」へ進化させる!!

クラウド予算実績管理ツール

YOJITSU
https://yojitsu.net/

同友会 株式会社 シスプラ ☎ 0120-638-377
高崎支部会員

環境を思う、未来を想う
あらためて誓う
上武印刷

優れた環境適応性。
より高精度で美しい仕上がり
「水なし印刷」システム
「水なし印刷」は、湿し水を使用せず有害な廃液を0にし、その結果CO₂を削減します。環境への負荷が格段に少ない印刷システムです。
ムダな廃棄物を出さない。
必要な時に必要な部数を
オンデマンド印刷
オンデマンド印刷は、「必要な時、必要なだけ」の印刷でムダがなく、環境面で優れています。また、印刷コストを抑え、納期も短縮できます。
私たちは、環境にも、お客様にもやさしい企業を目指します。
群馬県環境GS認定事業所
上武印刷株式会社
〒370-0015 高崎市島野町890-25
TEL 027(352)7445(代) E-mail eigyo@jp-t.co.jp
FAX 027(352)2953(営業) URL http://www.jp-t.co.jp/